
里山保全の方向性

-CO₂吸収源・ナラ枯れ・生態系サービスの視点から-

平塚 基志

森林環境科学研究室

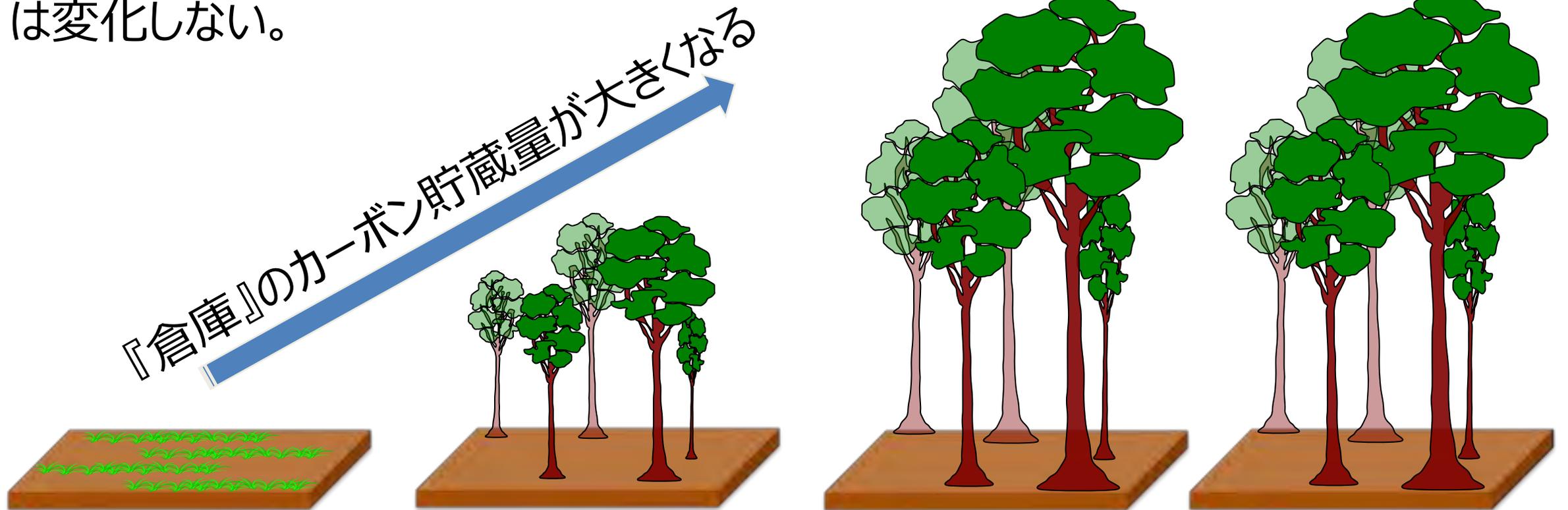
早稲田大学人間科学学術院



森林にはCO₂を吸収する『倉庫』の役割がある

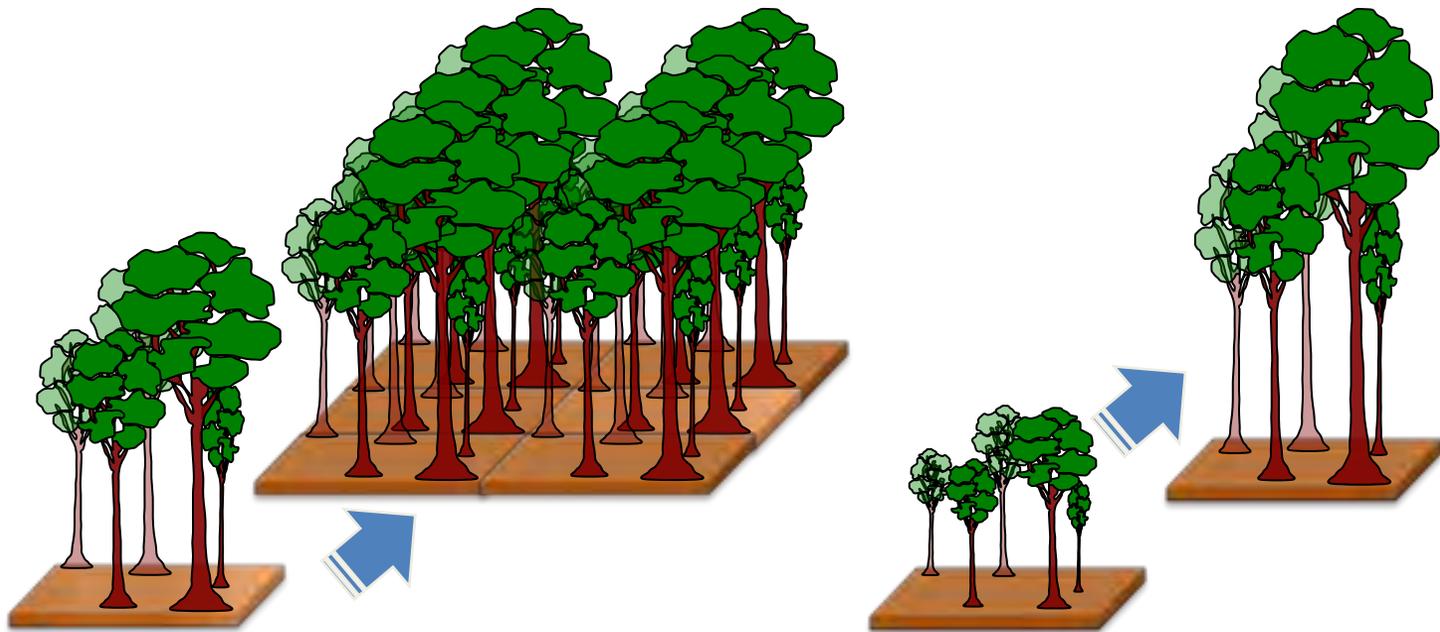
- 空気中のCO₂は光合成によって森林内にカーボンとして貯蔵される。
- 森林は成長に伴いカーボンを増やしていき、成長が止まると『面積あたりのカーボン』は変化しない。

『倉庫』でカーボン貯蔵を維持する



森林のCO₂吸収量の計算方法

$$\begin{array}{l} \text{森林面積} \\ \text{の増減} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{面積あたりの} \\ \text{カーボンの増減} \end{array} = \begin{array}{l} \text{カーボンの増加量} \\ \text{(CO}_2\text{吸収量)} \end{array}$$



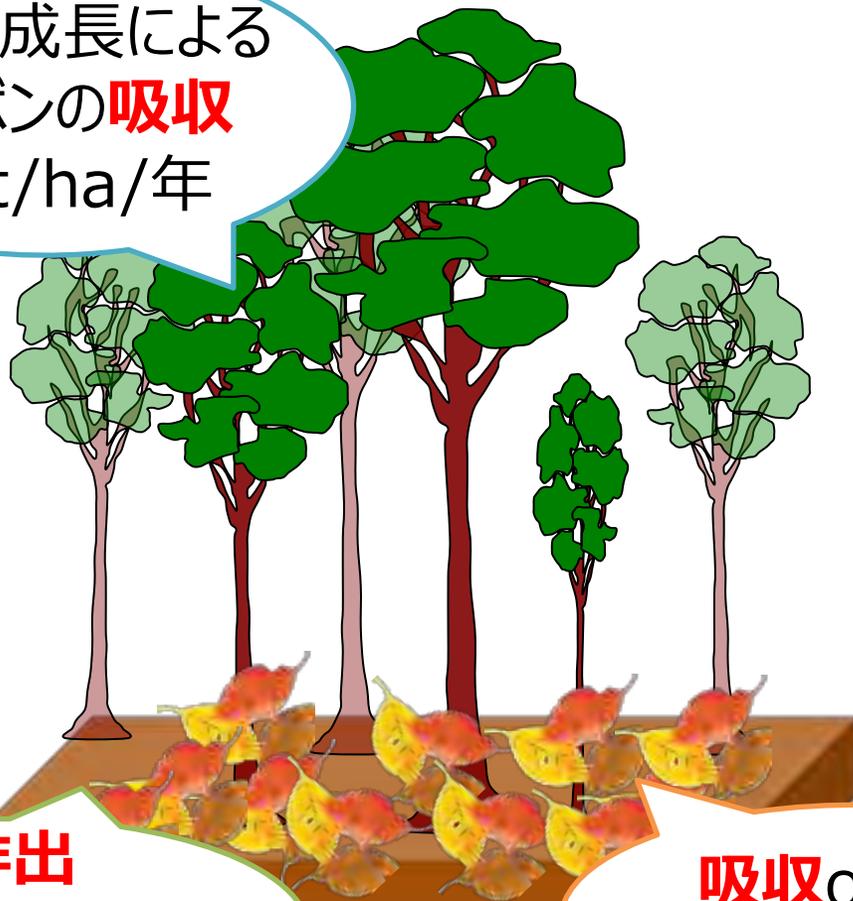
↓

CO₂排出を相殺する
吸収量となる

里山からのカーボンを農地で貯蔵

出典： Hiratsuka et al. (2020)
Matsushita et al. (2015)

樹木の成長による
カーボンの**吸収**
約8t/ha/年



排出

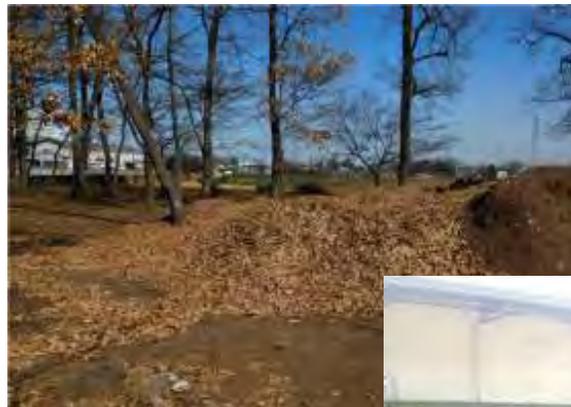
土壤生物の呼吸量
約4t/ha/年

吸収or排出

落葉が約4t/ha/年

$$8 - 4 - 4 = 0$$

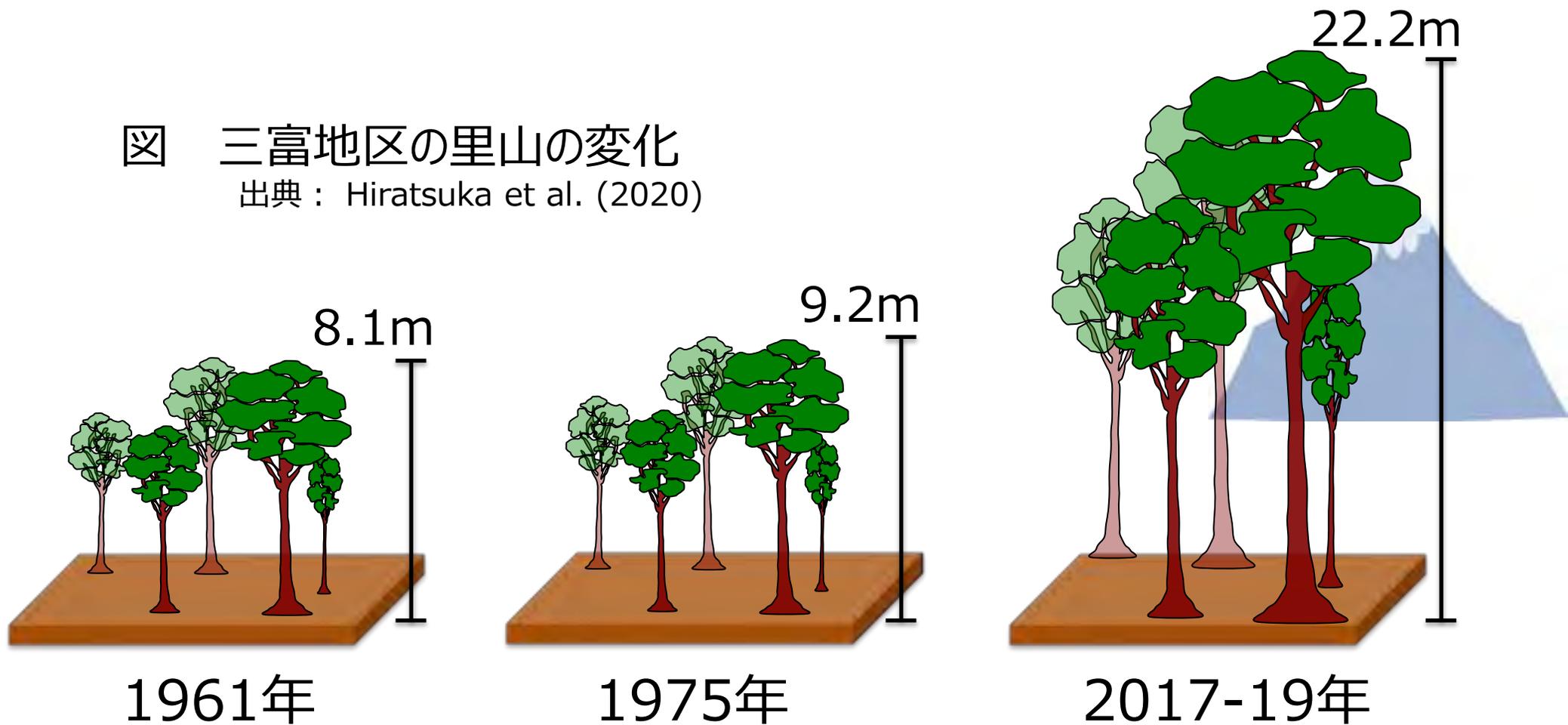
(里山から落葉を持ち出しても**収支はOK**)



農地におけるカーボン貯蔵

所沢市の里山の変化『倉庫が満杯に近づいている』

図 三富地区の里山の変化
出典：Hiratsuka et al. (2020)



面積あたりのカーボンは
満杯に近づいている



※富士山がよく見えた
※西武園の花火が見えた

狭山丘陵全域でのナラ枯れ調査

1. 狭山丘陵のナラ枯れの地理的特徴

【1-1 林冠への被害状況の特定】

2022年11月の衛星画像（Pleiades 0.5m解像度）（上図）を用いて対象地をFalse Colorで図化（下図）・被覆図の作成。

【1-2 常緑樹の抽出・除外】

2019年3月の空中写真を用いて対象地に分布するスギ・ヒノキ植栽地や常緑樹林（以前の屋敷林等）を抽出し、それらを除外。

【1-3 被害と斜面方位の解析】

対象地を30mメッシュで区分し、それぞれのメッシュについて林冠への被害と斜面方位の関係を分析。

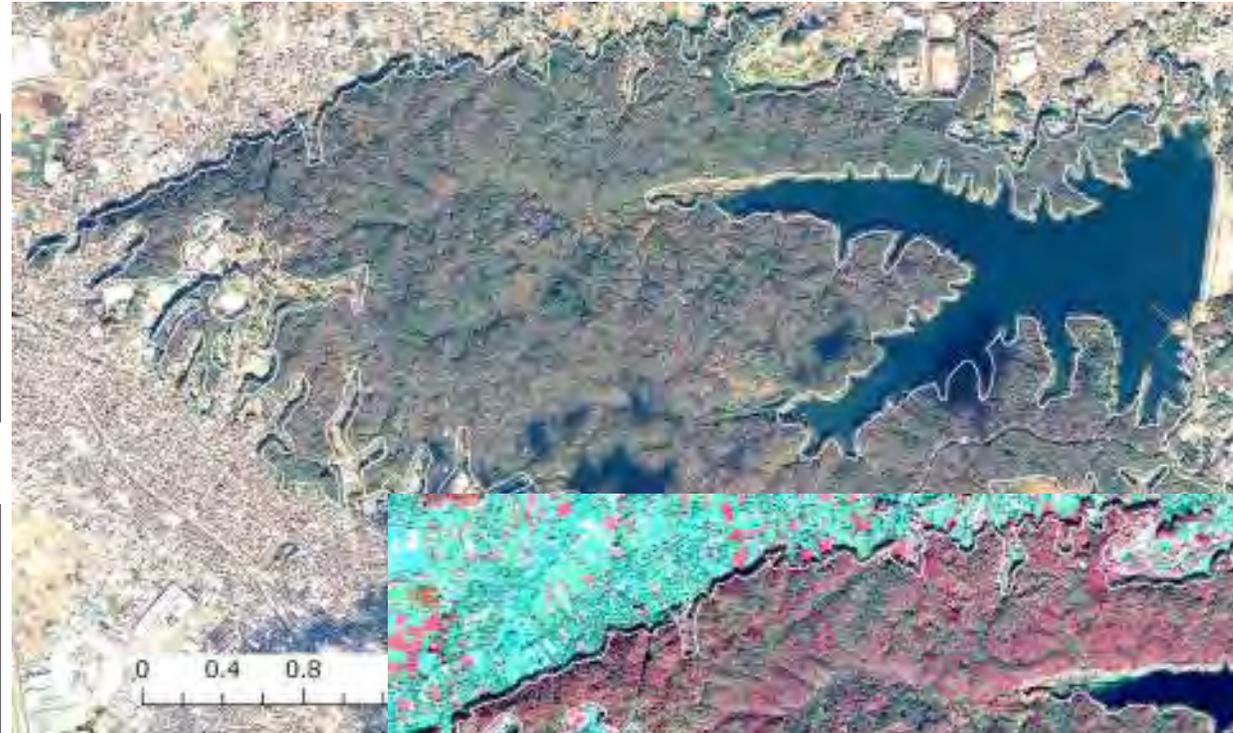
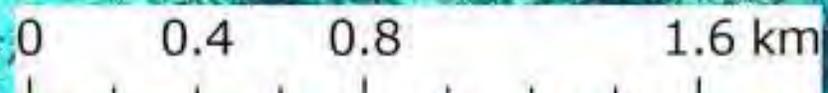


図2 衛星画像を用いた土地被覆の解析



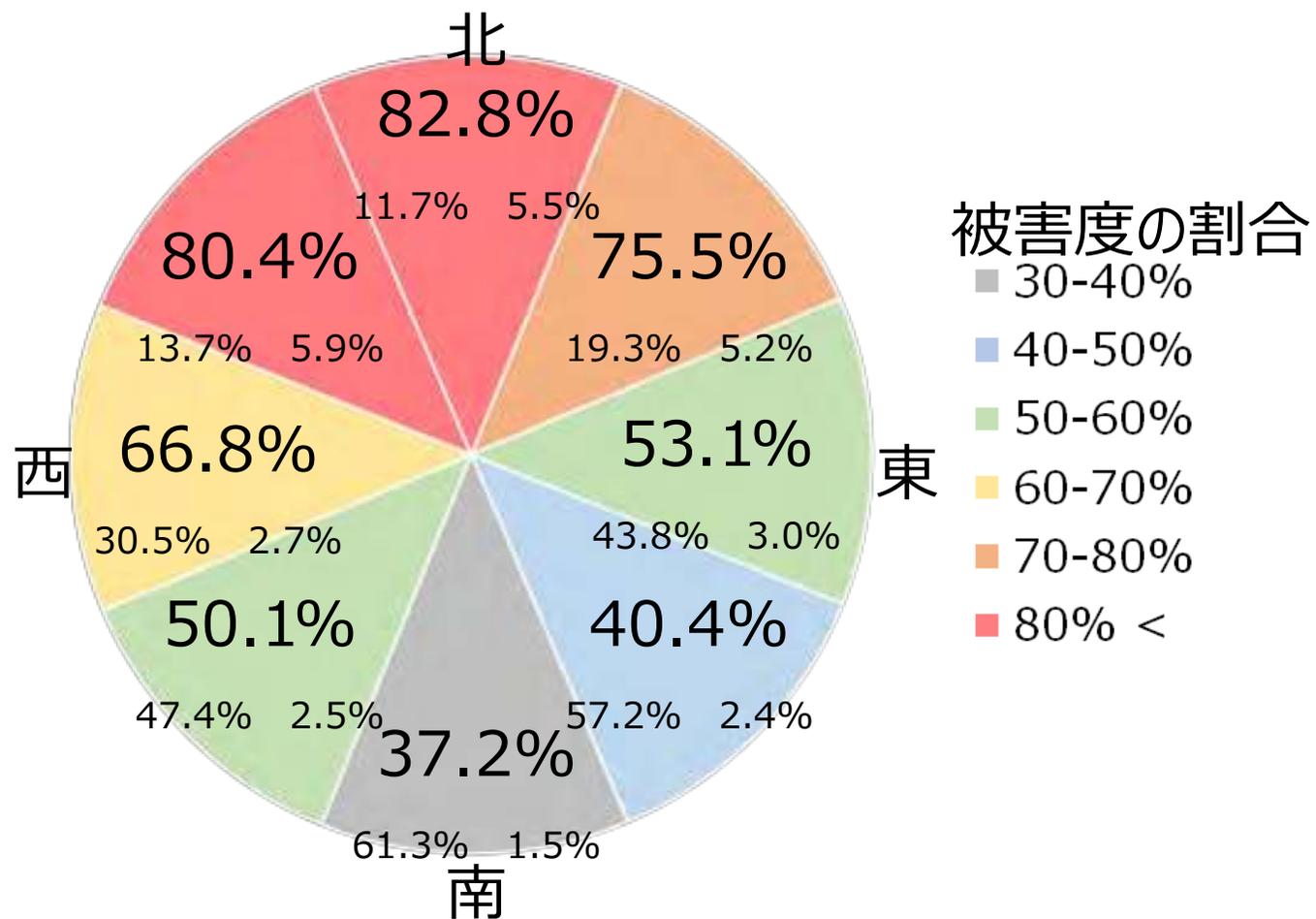
赤色は健全な葉（ミドリ）を示す。



ナラ枯れが発生しやすい・被害が大きくなりやすい場所は？

■ 斜面方位（8方位）で比較すると、北側、北西側、及び北東側斜面でナラ枯れが顕著に発生していた。とくに北側（82.8%）と北西側（80.4%）で被害が確認された。

■ 一方、南側、南東側、及び南西側では相対的にナラ枯れの被害が小さかった。とくに南側（37.2%）と南東側（40.4%）では被害が小さかった。



※ 図中の数字は各斜面方位における被害木の割合（上）、非被害木の割合（左下）、そして雲の影響等で解析できなかった場所の割合（右下）を指す。

所沢キャンパスB地区でのナラ枯れ調査

2. 異なる管理下でのナラ枯れの特徴

【2-1 被害木のモニタリング（1回目）】

所沢キャンパス内の被害木について、位置情報を記録し、胸高直径（DBH）を測定。さらに被害度を5段階で記録（表1）。

【2-2 被害木のモニタリング（2回目）】

繰り返し、所沢キャンパス内で被害木の位置情報の記録、DBHを測定、被害度（5段階）を記録を実施（表1）。

【2-3 異なる環境下の調査地を比較】

管理区（0.5ha）と非管理区（0.3ha）の2つのプロット（図3）でナラ枯れの特徴を分析。

表 ナラ枯れの被害度と被害評価の際の観察項目

被害度	観察時のチェック項目
1	下部に穿入（穴やフラスあり）・樹冠に変化なし
2	穴やフラスあり（5未満）・樹冠に変色した葉が20%
3	穴やフラスあり（5以上）・樹冠に変色した葉が50%
4	穴やフラスあり（5以上）・樹冠に変色した葉が80%
5	幹や大枝が折れている

図 所沢キャンパス内の二次林に設置したプロットの位置（管理区と非管理区）
※白点はナラ枯れ被害木



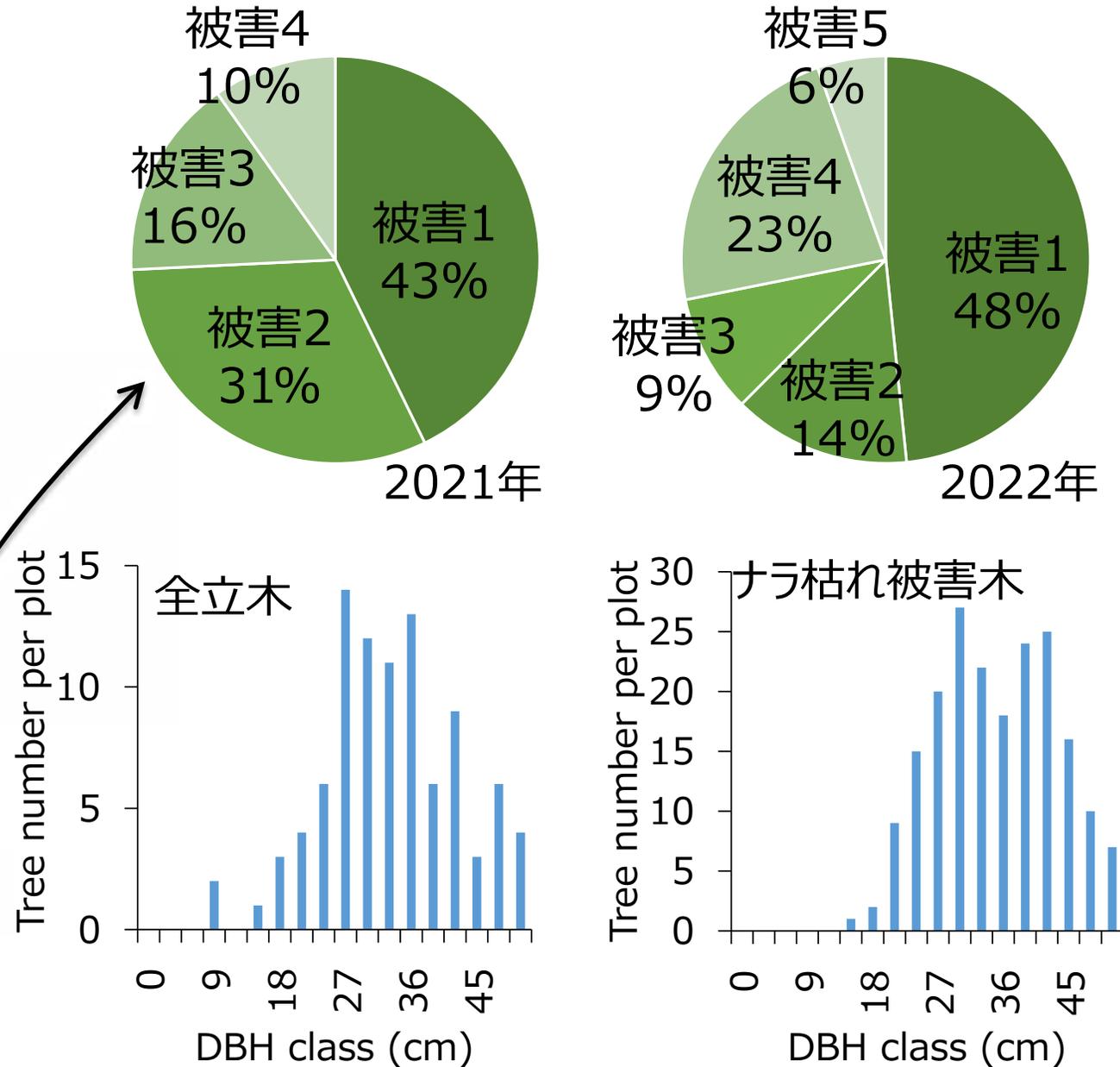
ナラ枯れの被害はどのように拡大・縮小していくのか？

■ 所沢キャンパス全体（約4haのコナラ二次林）では、合計548本のコナラ及びクヌギがあり、そのうち277本（約51%）にナラ枯れが確認された。被害は2021年の40%から拡大し、同時に被害度にも変化があった（右上図）。

■ 被害はDBH35cmを超える大径木に多く確認された（右下図）。

図 2021年（左）と2022年（右）のナラ枯れ被害度の割合（※被害度は表1に基づく）

図 2021年における管理区と非管理区の全立木（左）と被害木（右）のDBH分布

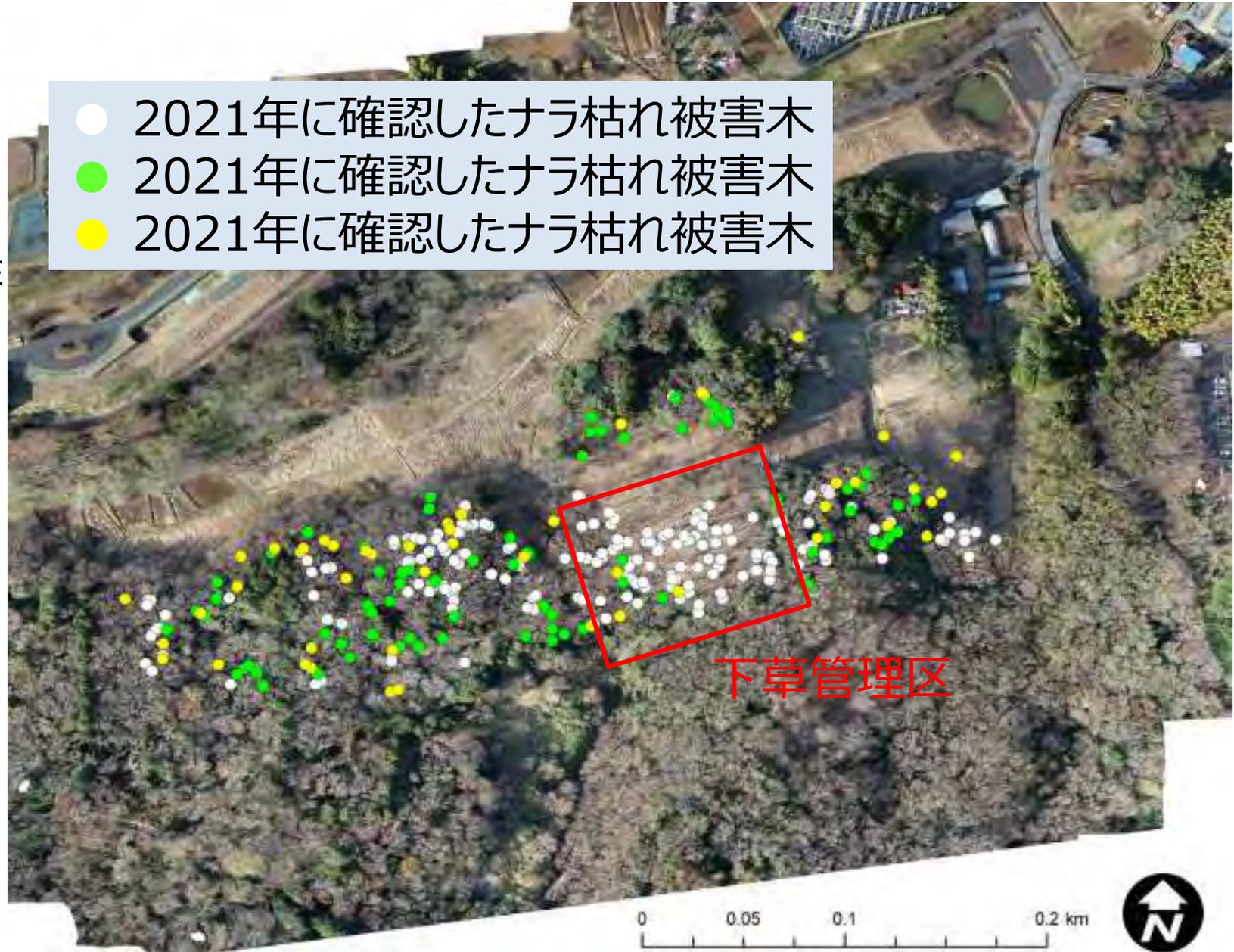




ナラ枯れの被害はどのように拡大・縮小していくのか？

- 2021年に最初のナラ枯れ被害が確認された。その際は下草管理区が中心だった。
- その後、2022年には周辺の非管理区に被害が拡大し、それが2023年も続いている。

- 2021年に確認したナラ枯れ被害木
- 2021年に確認したナラ枯れ被害木
- 2021年に確認したナラ枯れ被害木



ナラ枯れによってどの程度の樹木が枯死するのか？

- 被害木の被害状況（4段階）と胸高直径には正の相関関係が認められた（ $R=0.21, p<0.01$ ）。
- 被害木の被害状況（5段階）と被害木が立地する標高にも正の相関関係が認められた（ $R=0.23, p<0.05$ ）。
- 2021年から2022年にかけて被害度が改善している個体が50本（被害度-1～-3の合計）（約25%）確認され（右図）。葉の変色やフラスの量は被害の程度を示すだけであり、ナラ枯れによる枯死特定には参考程度であった。

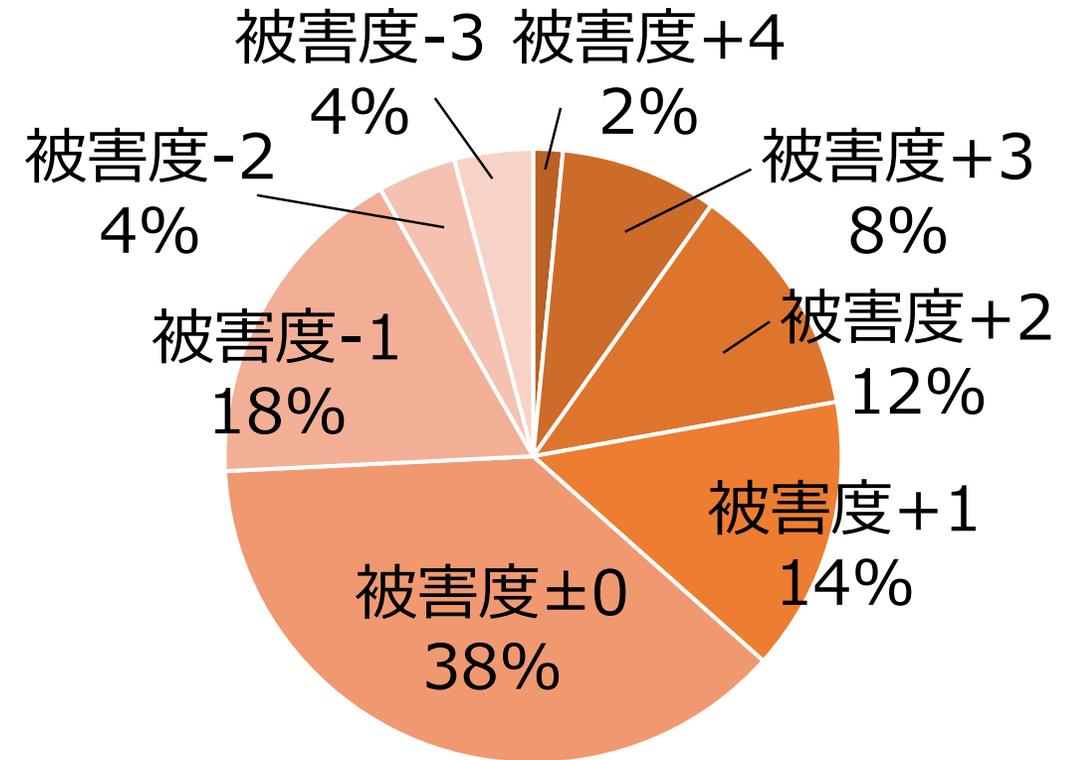


図 ナラ枯れ被害木の被害程度の変化
※例えば、被害度+3は2021年に被害度1だった個体が2022年に被害度4に変化した場合

これまでに分かったこと-1

- 小径木より大径木の方が被害が大きい。
 - 薪炭林として利用しなくなった。
 - 萌芽更新の間隔が長期化した（人為的に萌芽を促す？）。
- 被害は斜面方位によって明確に異なる。
 - カシノナガキクイムシの生活史に関係すると考えられる。
- 被害は下草管理によって異なる。
 - 下草が物理的な防御効果を及ぼしている可能性がある。
- ナラ枯れの被害による「枯死」の判断までは複数年を要する。
 - 枯死したように観察しても、樹勢が回復する場合が多い。

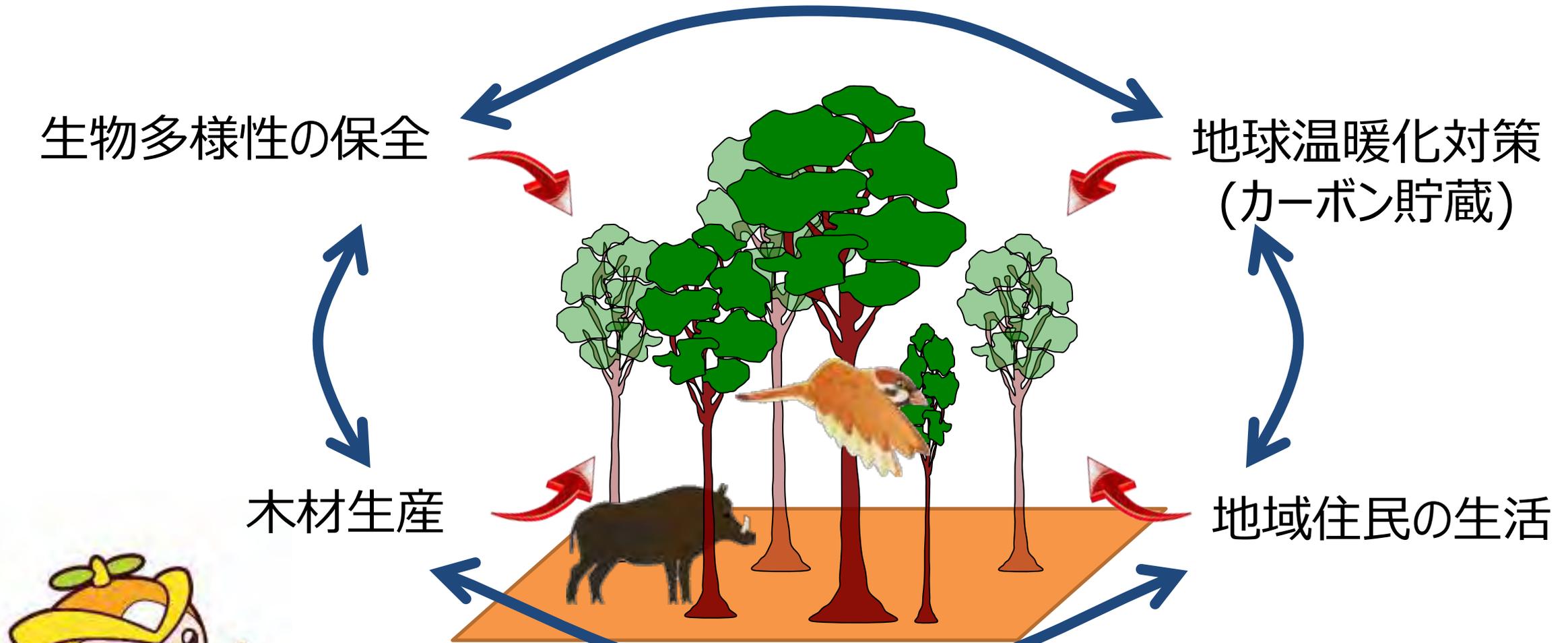


これまでに分かったこと-1

- 地球温暖化による間接影響が推察される。
 - 南方系統の遺伝型のカシノナガキクイムシが確認されている。
 - 年2回の繁殖・発生を可能にしている。
- ナラ枯れによるコナラの枯死率
 - 山形県では最大40%程度が枯死（斎藤・柴田 2012年）、そして愛知県では最大60%程度が枯死（渡辺ほか 2016年）と報告されている。一方、所沢キャンパスB地区では約20%の枯死にとどまっている。



里山からのサービスを地域に適応させることが重要



全ての機能を同時に向上させることは難しい。
地域に適した『**調和メカニズム**』を維持することが重要になる。

2024. 2. 10 (土) 所沢市中央公民館学習室2・3号

所沢環境市民の会 24年度総会 記念講演会

プログラム

(1) 記念講演 (平塚基志教授) 14:00

- ・開会のご挨拶 (上田マリノ)
- ・里山保全の方向性 -CO2 吸収源・ナラ枯れ・生態系サービスの視点から-

<休憩 15:05~15:20>

(2) 所沢環境市民の会 総会

- はじめに (事務局長 栗田彰) 15:20
 - ・総会成立確認
 - ・総会記録人選出
- 代表挨拶 (代表 上田マリノ) 15:30
 - ・ご挨拶、総括・計画
- スタッフメンバーの紹介と承認 (事務局長) 15:40
- 各グループリーダー報告 15:45
 - ・活動報告、活動計画 各5分
 - ・質疑応答 16:10
- 会計報告 (中原幹男) 16:20
- おわりに (代表) 16:25
 - ・会費集金/新規会員のお願い/カンパ要請 (代表)

平塚基志教授のプロフィール



早稲田大学 人間科学学術院 専門：森林環境科学
学歴：2000年早稲田大学人間科学部人間基礎科学科卒業、
2006年早稲田大学大学院人間科学研究科人間科学専攻（博士後期課程）修了 博士（人間科学）
職歴：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任
研究員を経て、2015年4月に早稲田大学 講師（専任）、
2018年4月より准教授、2023年4月より現職

スタッフメンバー紹介

上田マリノ（代表／広報）

元エコアイドルの7歳児ママ。環境ナビゲーターと名乗り、2008年から環境普及活動をしている。所沢市マチエコアンバサダー。みんな電力創業期メンバー。

大江宏（副代表／ごみゼロWGリーダー）療養中

大学で環境マーケティング論などを担当。自治体のごみ問題にも関わる。退職後に所沢市民ソーラーと出会い、営農型太陽光発電が持続可能な地域創りの柱と実感。亜細亜大学名誉教授。

小出浩平（副代表／創エネWGリーダー）

陸前高田しみんエネルギー(株)代表取締役社長。うすきエネルギー株式会社(株)代表取締役。ゼネコン、ワタミなどを経て、持続可能な自立分散型地域づくりをライフワークとしている。

栗田彰（事務局長）

測量士。プログラマー。元PC教室運営、PC支援相談等を担う元「パソコン・オフィス&ホーム・クリニック」代表。「市民から見た所沢市の財政」共著。

大島浩司（省エネWGリーダー）

グリーンピープルズパワー(株)取締役。会社員生活40年、最後の10年で経験した環境・CSRの仕事が一番フィット。定年退職後はこれらの仕事で社会貢献すると決め、GPPやオルタナ、他団体を支援している。（一社）所沢市民ソーラー理事。

井上昌夫（農業WGリーダー）

西武アグリ(株)のアドバイザー。国際協力事業団(JICA)青年海外協力隊に参加、種苗会社みかど協和(株)などで自然を生かした野菜作り。JOIA日本オーガニック検査員、劇毒物取扱責任者(農業)、一級造園施工管理技士

森斌（ごみゼロWGリーダー）代理

シチズン時計退社後、埼玉西武・土と水と空気を守る会、エコネットくぬぎ山、福島原発さいたま訴訟を支援する会、（一社）所沢市民ソーラー理事などに参加

中原幹男（会計）

所沢市民大学OB会「ところざわ倶楽部」第15、16期会長。現在、副会長総務部長。「所沢市民大学ファームの会」代表。（一社）所沢市民ソーラー副代表理事。農業とソーラー発電の融合に情熱を注いでいる。

品川昭（監事）

（一社）所沢市民ソーラー代表。1990年(株)西友環境対策部長に就任し環境問題と出会う。退職後の07年、所沢市廃棄物減量等審議会審議員(市民公募)「所沢・ごみ減量市民の力」を結成。

持丸邦子（監事）

城西大学現代政策学部非常勤講師。博士(経営学)。青少年多文化学びサポート(ESMY)代表。より良い地域社会・地球社会づくりのための種々のNPO活動歴30数年。

代表挨拶

2024年2月10日

所沢環境市民の会は、設立から1年が経ちました。1年間、皆様の積極的な参加と献身的な活動、そして暖かい声援によって、私たちの団体は継続することができました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

さて、昨年は気温が例年より異常に高く、秋が短く感じられた人も多いのではないのでしょうか。「地球沸騰化」の時代とまで言われるようになり、この気温上昇に無関心ではいけない人が増えてきたように感じます。

昨年11月末に開催されたCOP28では、化石燃料から「脱却」していき、2030年までに再生可能エネルギー容量を3倍にし、さらに省エネ改善率を2倍にすることが合意されました。また、途上国への支援に特化した基金が採択されました。

国連によると、今の対策のままでは温室効果ガスの削減が進まず、今世紀末には世界の平均気温は産業革命前より3度近く上昇するとのことです。地球の沸騰化は、今この瞬間も進んでいるのです。

世界に目を向けると、ウクライナやガザなどで起きている戦争は、二酸化炭素の増大と、原油や穀物価格の上昇という大きなリスクを引き起こしています。

また日本では、令和6年能登半島地震により、未だに能登地方では（2/2時点で）およそ2100軒の家が未だに停電しているということから、エネルギーの地産地消や地域分散の重要性を再確認することとなりました。

所沢市では、2020年11月3日の「ゼロカーボンシティ宣言」の元、「所沢市脱炭素社会を実現するための条例」の制定や、市内の事業者の脱炭素経営を促進する「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」の設立がなされ、省エネや再エネに関する補助金や生ごみ再資源化の奨励金交付など、マチごとエコタウン化に向けて総合的に動いています。

私たち所沢環境市民の会は、さらに地域の方と連携し、カーボンニュートラルな暮らしへ向けた取り組みを広めていきます。まず、暮らす上で使うエネルギーを少なくすることが肝心です。省エネを進めるには、住宅へ断熱の工夫を施したり、古い家電を省エネ性能の高い家電に買い替えるなど、我慢を強いる省エネだけではないということを周知をしていきたいと思っています。そして使う電気エネルギーは、低炭素な再生可能エネルギー由来にしていくこと。そのためには市内に再生可能エネルギーの発電

所を増やしていくことや、家庭や事業者が再生電力を販売する電力会社に切り替えることも大切
です。

捨てるものが減れば、焼却にかかるエネルギーも減ります。ごみゼロの取り組みは、リデュース・リユース・リサイクルの基本やコツを市民へ伝え続けると同時に、廃食用油の活用やコンポストの啓発など、3R を探求することがポイントだと考えています。

里山など自然環境と人間の関係性を見直し、落ち葉堆肥などの循環型農業を促進することで、雑木林の保全や土壌の炭素貯留を増やすことにもつながります。このように各テーマを同時に取り組むことで、カーボンニュートラルな社会を促進していく一助になりたいです。

当会の課題としては、自然環境を担当する緑と水のグループを導くリーダーが不在ということがあります。今回の特別講演を森林環境科学がご専門の平塚教授にお願いしたのは、緑と水グループが活動できなかったことを振り返り、1歩でも進むために森林というテーマの重要性の再確認というメッセージを込めました。

さて、私には7歳の小学生の子どもがいます。26年後の2050年には33歳です。もしかしたら結婚して子どもを産んでいるかもしれません。ですが、私たちがこのまま何も対策をせず気温の上昇が続けば、子どもたちが大人になる2050年には最大2.6度もの気温上昇が見込まれています。今の小学生の世代は将来、子どもを産むことを躊躇するかもしれません。すでに今の20代30代も、気候変動による未来への不安から、無力感、怒りなどの感情を慢性的に抱いている状態「気候不安」に陥り、子どもを持つことに不安感を持つ人もいます。

気候危機は、子ども達から夢や希望を奪います。場所によっては住まいや学習の機会も奪います。この問題に私たち大人は真剣に取り組まなければなりません。大人達が真摯に取り組む姿を見て、次の世代も希望を持ってくれると信じています。そのために所沢環境市民の会を立ち上げました。ぜひとも様々な形でご協力ください。

食べ物とエネルギーの自給をベースに、自然の恵みと資源の循環、命のつながりを大切にするカーボンニュートラルな生活圏を共に目指しましょう。

私たちのような市民団体と行政、事業者と「オール所沢」が連携すること。これがカーボンニュートラル実現への重要なキーワードです。つながりの力で、困難を乗り越える強さを、そして子ども達の希望をこの所沢に創っていきましょう。ぜひ、あなたの力を貸してください。ありがとうございました。

所沢環境市民の会 代表 上田マリノ



所沢環境市民の会 活動計画

イベント
勉強会に加えて
映画上映会

会の見える化
SNSやブログ
動画配信など

広報・PR
デザイン
他団体の催し

<協力者募集>

SEO対策、SNSやブログの更新、イベントのオンライン配信やGoogleのツールが使える方

Carbon Neutral by 2050

所沢環境 市民の会

Tokorozawa Environmental People's Association

会員募集中

出前講座も受付中！お気軽にお問い合わせください♪



勉強会／ミーティング



体験／アクション



情報提供

所沢環境市民の会

Mail:tokorozawa.kankyo@gmail.com

Web:https://tokorozawa-eco.studio.site



WEB
入会フォーム



LINE
オープンチャット

創エネワーキンググループ（2023年度活動報告）

1）所沢市内の再エネの現状を把握しました

- ・ 埼玉県は、電力自給率約10%、全国**42位**(47都道府県)です
 - ・ **所沢市は**、県内平均8.4%よりも低い、**6.9%**です
- ➡市民主体での再エネの必要性を再確認しました

2）所沢市での再エネの可能性を議論しました

- ・ 屋根置き太陽光、営農型太陽光（ソーラーシェアリング）、調整池太陽光、**木質バイオマス**（飯能など（ダイアプラン）地域との連携）**の熱利用**などの可能性を議論しました
- ➡**ソーラーシェアリング可能性検討協議会**を市に提案しました
（継続提案中）
（例）農地100ha（市内全農地の約6%）に設置できれば、現状の市内の全太陽光発電以上の発電が可能です

導入事例：

土耕栽培

所沢市内：

一般社団法人

所沢市民

ソーラー



導入事例：

根域制限栽培

ワイン用ブドウ

所沢市内：

陸前高田市

2024年度活動計画

1) 所沢市での再エネの可能性を議論します

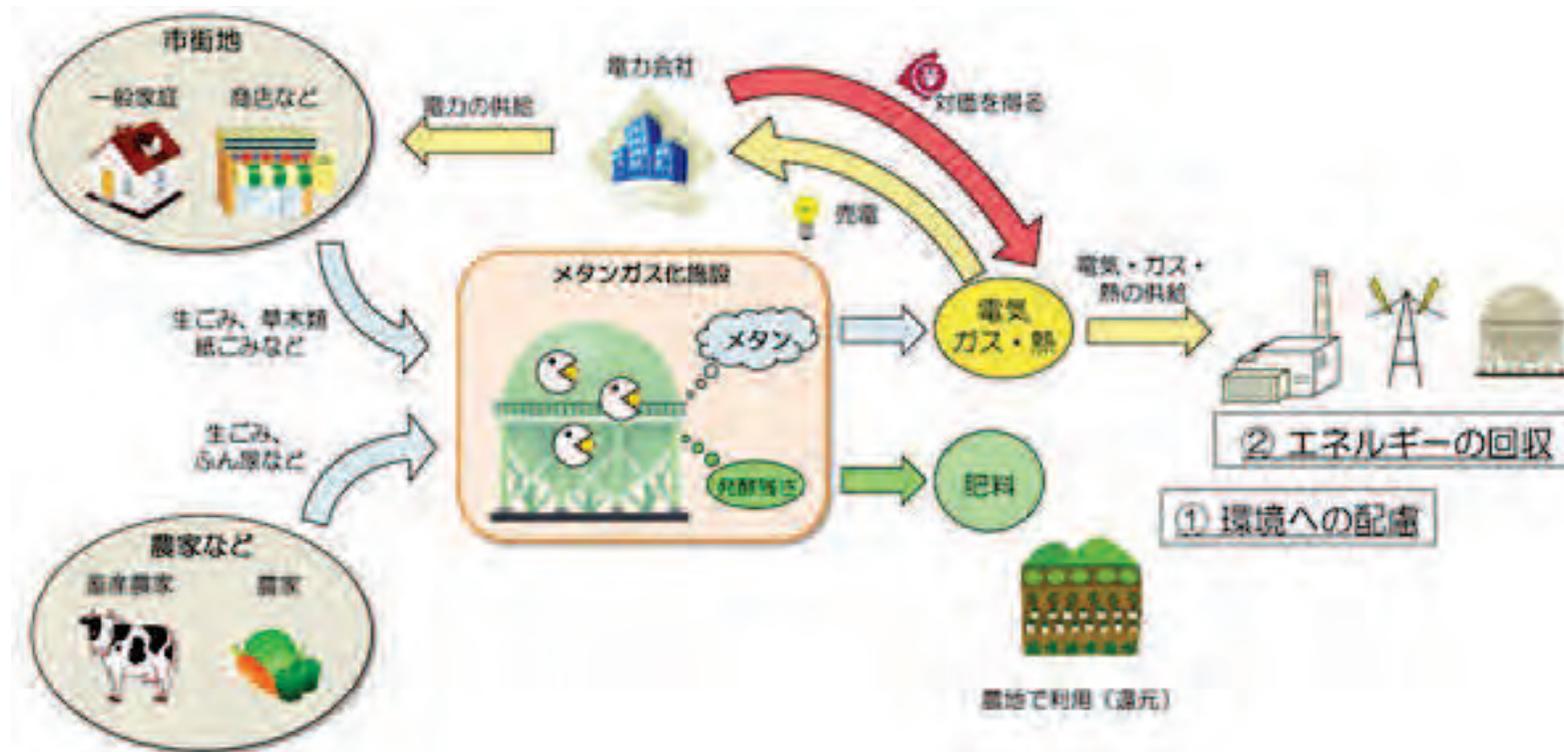
- ・ 調整池太陽光 →→→→→→→→
- ・ 木質バイオマスの熱利用
- ・ 食品残渣のエネルギー利用 など
先進事例視察を企画し、所沢市
での導入可能性を検討します



2 ソーラーシェアリング検討協議会を市に提案します（継続）

- ・ 農林水産省【みどりの食料システム戦略：有機農業の普及等】
が支援しているプログラムを活用した事業を提案し続けます

食品残渣等のエネルギー利用（バイオマス）



小型バイオマスプラント

このタンクで
メタン発酵

発電や熱利用、
液肥もできます

2024.2.10

所沢環境市民の会省エネWG活動報告

省エネワーキングリーダー 大島浩司

省エネワーキングの目的とやったこと

- 1, この国の電力使用量の削減
- 2, 市民には電力使用量の削減する = 出費の削減をアピール
(お財布に優しい)
- 3, お金をかけずに省エネする
アイデア出し
- 4, ユーチューブ動画制作でアピール
- 5, 各種勉強会でアピール
(人材バンクセミナー・
たぬきの会等)



省エネワーキングでこれからやること

- 1, 省エネコンテンツの充実
- 2, 即効果のある省エネ策立案
- 3, お金を掛け数年で回収できる
- 4, 引続きユーチューブ動画制作
- 5, 各種勉強会開催
- 6, 省エネグループの更なる活性化

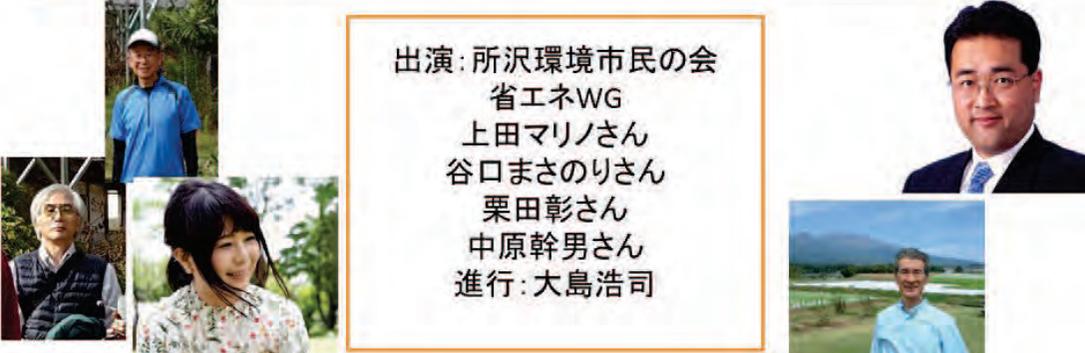
2023年冬の省エネテーマ

- 電気代の高騰を乗り切る
- 省エネ大作戦・初級版、中級版、上級版
- 首・手首・足首の3つの首を抑える工夫
- ブーツスリッパの利用
- 高機能吸湿発熱繊維下着の着用
- 電気を使わない暖かフロアカーペットの利用
- エアコンフィルターの清掃
- 日本文化こたつの再評価パーソナルタイプ
- 太陽熱温水器を設置してお湯を作る
- 熱交換型換気システム
- 断熱工事アルミ + 密閉空気層を張り巡らす
- ぽかぽか暖か歩ける寝袋
- 昼間充電した電気で夜液晶テレビを見る
- 1年中、風呂桶を使わずシャワーのみ
- 内窓を採用して簡易リフォーム
- 太陽熱温水器「エコ作」の利用

省エネ放談

お財布に優しく・エコロジーで暖かな冬

出演: 所沢環境市民の会
省エネWG
上田マリノさん
谷口まさのりさん
栗田彰さん
中原幹男さん
進行: 大島浩司

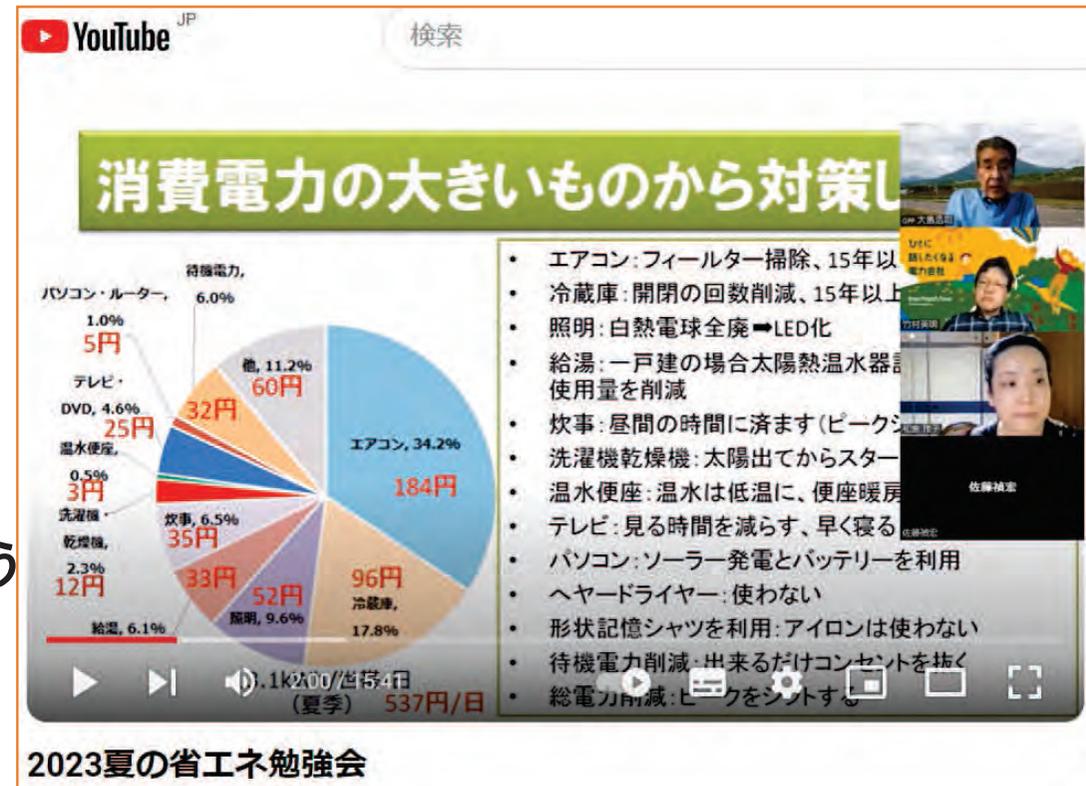


[省エネ座談会](#)

[2022 12 16省エネ放談完成版 \(youtube.com\)](#)

2023年夏の省エネテーマは

- この夏・なぜ省エネが必要か？
- 消費電力の大きいものから対策しよう
- 家の電力を計ってみよう
- エアコン消して涼しいところに集まろう
- 温度・湿度計を付けてみよう
- お金のかからない省エネをやろう
- 冷蔵庫の省エネはこうしよう
- ちょっとだけお金をかけて省エネしよう
- クールタオル・冷却リングで首から冷やそう
- 水冷式・空冷式ジャケットでからだを冷やそう
- お風呂で省エネしよう
- 洗面台に洗面器を
- すすぎの要らない洗剤
- 金にかかるが、やったほうが良い省エネアイデア
- 太陽熱温水器
- 自然エネルギーを使おう（パワーシフト）



2023年夏の省エネユーチューブ動画

https://www.youtube.com/watch?v=3_L9XsQAhks&t=19s

2024年冬の省エネテーマは

- 我慢しない省エネ実践
- 高気密高断熱 省エネで温かい家
- サーマルクーラーで光熱費を削減
- 漆喰の調湿効果で加湿機・除湿機は不要
- 冬の昼間の太陽光を室内に取込む賢い明り
- 太陽熱温水器で光熱費削減 エコ作の利用
- エアコンのフロンを炭化水素冷媒に入替える
- 運動で暖房費の削減にチャレンジ

YouTube JP 検索

実践 高気密高断熱 省エネで温かい家

窓枠を交換及び追加
①出来れば3重ガラス窓に取替える
②現状ガラス窓に内窓を追加
③アルミサッシから樹脂サッシに取替える
簡易プラン (DIY店で購入)
①アクリサンデーの利用
②中空ポリカの利用
(窓枠のサイズでカットしてはめ込む)

家の壁・天井・床の断熱工事を追加する (内断熱の例)

内断熱と外断熱 それぞれメリットデメリットある

中空ポリカ <https://www.agc.com/products/tbpc/detail/hollowpanel.html>

簡易内窓「アクリ」 <https://www.acrysunway.co.jp/product/0001/341/>

2024 2 5所沢環境市民の会省エネ講談

2024年 実践冬の省エネ講談ユーチューブ動画

<https://www.youtube.com/watch?v=I9LZd6VSAhQ>

農業ワーキンググループ

【2023年度活動報告】

農業 WG は、私たちがめざす、所沢生活圏のイメージを共有することからスタートしました。生活圏実現構想の要約は、以下の通りです。

【目的】

- ・ 食とエネルギーの自給を基に＜武蔵野自給圏農業構想＞を実現していきます。
2016年に国連で採択されたSDG's農業構想は、大量のエネルギーと水を必要とする大規模農業でも植物工場でもなく、かつての日本の家内農業的なスタイルでした。
- ・ 食とエネルギーの自給を基に、圏内に命のつながりを大切にする、カーボンニュートラルな生活圏を、観光 only ではなく、営利栽培を継続できる形を模索し続けます。
圏内の農業生産圃場が、そのまま散策公園となるオープンガーデンや、研究工房、農場となるイメージです。

「自給圏」といっても、無論、排他的で閉鎖的な社会をめざすものではありません。循環型社会は、さまざまな人の往来が地域活性の呼び水となることを念頭に、各地の自給圏の向こうとこちらに、人と人の新たな暮らしを展望するものです。

現代社会においては、IT、AI の便利さと仮想現実では満たされない何かを求め、人々の視線は、再び大地に還り始めたように感じます。言い古されたことではありますが、人は、人工的で無機的な環境に囲まれて生きていけるほど進化していない。これは生き物である証とも言えるでしょう。

命が息づく豊かな自然と、微生物の宝庫である土のにおいの中で汗を流す営みから、人としての生身の感覚を取り戻す過程で、この地で暮らす喜びと希望を見出せる気がします。

上記構想を具現化するために、本年度は、まずは、所沢市教育委員会の保健給食課にお願いをして、私たちにとって身近な学校給食について、その現状と課題を知るところから始めました。

開催日	場所	参加者	要旨
2023/9/13	松井まちづくりセンター	5	農業WGの活動内容について意見交換&実施策検討
2023/10/23	新所沢コミュニティセンター	6	〃
2023/11/8	所沢教育委員会保健給食課	1	学校給食に関する出前講座開講のお願い
2023/11/20	新所沢コミュニティセンター	5	〃 の開催準備打合せ
2023/12/14	生活クラブ生協埼玉本部(川口市)	2	同生協スタッフとの意見&情報交換
2023/12/16	労働者協同組合ワーカーズコープ(所沢市)	3	<カレイドスコーププロジェクト>推進メンバーとの情報交換
2024/1/17	新所沢公民館	30	出前講座<学校給食の現状と課題>を主催

【2024年度活動計画】

出前講座＜学校給食の現状と課題＞では、たくさんの質問と要望がいただきました。本年度は、これらの要望を集約して具現化するために、所沢市はじめ、関係者が一堂に会して意見交換・情報交換できる場を主催し、先進的な取組を行っている自治体や農業法人視察など、動き出したいと考えています。

- ① 市内の生ごみすべてを、武蔵野の土を豊かにし、エネルギーを産み出す資源に使う。
- ② 常態化する気候温暖下のソーラーシェアリング栽培品目、技術、販路開拓をサポート。
- ③ 生産者と生活者(=消費者)の連携サポート体制を構築する。



↑ 所沢市北岩岡 西武アグリ(株)農場



↑ 長野県 野辺山営農ソーラー

激しく変動する天候に、生態系破壊進行の脅威を感じている人は多いかと思います。絶対解はありませんが、いのちの源泉である食とエネルギーから、目を背ける訳にはいきません。驕ることなく、生態系構成メンバーであるヒトとして、自活できる方策を模索し続けたいと思います。

ごみゼロWG

2023年活動・2024年方針

見学

吉岡製油（廃食油）

オリックス

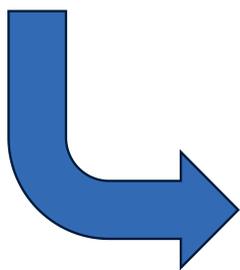
（乾式バイオマス発電）

キエーロ



キエーロ

薬品・電気不使用
色々な容器が使える
トロ箱
衣装ケース
プランター・etc



廃食油

* 拠点回収（27ヶ所）

まちづくりセンター	:	12ヶ所
消防署	:	6ヶ所
コミュニティセンター	:	4ヶ所
その他	:	5ヶ所



未利用：10万t（全国） 所沢回収 12t

スーパーなどを拠点にできないか

剪定枝

所沢市排出量：6,000t/年

川越市資源化センター草木類資源化施設 見学（3/15予定）

処理能力6.1t/day 1,525t/年（1日5h 250日/年稼働）

処理対象物 剪定枝・刈草

破碎 → 発酵 → 熟成 → 製品（無料配布）

5-2 第1期（会計期間 2022.10～2023.12）収支報告および監査報告

所沢環境市民の会

(1) 収支報告

収入の部	円	摘要
入会金	29,000	500x58 人
年会費	29,000	500x58 人
個人寄付	68,900	500～14,000 27 人
他団体寄付	17,088	市民フォーラム
収入合計	143,988	
支出の部	円	摘要
会場費	17,500	ホール 1 回、他公民館
消耗品	7,448	事務用品（主に市民フェス展示用）
印刷費	5,050	チラシ、資料
謝礼	35,787	講師謝礼（明日香氏、馬上氏）
WG 補助	5,000	ごみ WG の市民フェス展示費用補助
その他	10,000	市民フェス参加分担金
支出合計	80,785	
当期残高	63,203	次期繰越金

(2) 監査報告

第1期（2022年10月1日～2023年12月31日）の会計帳票、並びに現金を詳細に監査した結果、適正なることを認めます。

2024年2月5日

氏名 持丸邦子 (印)

氏名 品川 昭 (印)

5-7 第2期（会計期間 2024.1～2024.12）予算（案）

所沢環境市民の会

収入支出ともに20万円に拡大し、さらに積極的な活動を行いたいと考えています。

収入の部	円	摘要	支出の部	円	摘要
入会金・会費	75,000	500 x 50、100	謝礼	100,000	講師謝礼
寄付	125,000		諸費用	100,000	
収入合計	200,000		支出合計	200,000	
			期末残高	63,203	次期繰越金